

7月事業：「未来を創る当事者となれ！～変革の能動者育成セミナー～」  
7月公開例会：「意志あるところに道拓けるか？～スーダンでのNGO活動～」

## 趣 意 書

2010年度鹿児島青年会議所は、「愛のあるまちかごしま～変革の能動者として～」というテーマ掲げ、鹿児島のひとつづくり・まちづくり活動を実践しております。その中の一つであります、当「変革の能動者育成委員会」は、今年新設されました委員会です。「愛のあるまちかごしま」の創造のためには、「変革の能動者」の育成が不可欠であると考えます。

混沌とした時代ですが、いつの時代もまちや社会そして未来はひとが創ります。例えば、幕末期の郷土の先人「薩摩藩英国留学生」などのように「未知なる道を拓く使命感をもち1歩踏み出すこと」は鹿児島・日本の未来を創る1歩にも繋がります。

当委員会は、まず「変革の能動者を育成」する使命達成のために、「変革の能動者とはどんなひとなのか」定義いたしました。「変革の能動者」とは、「自分が置かれている環境の中から身近な社会に関わりあい、課題解決に強い使命感を持ち行動するひと」であると考えます。具体的には、従来は公共サービスの対象分野であった、環境・福祉・教育・文化・高齢化・地域活性などの現代的な課題やテーマに取り組み解決を図ろうとする活動者です。強い「使命感・志」と「必ず成し遂げる行動力」を身につけ、「事業としての持続性」のある革新的活動を行うひと、つまり「社会起業家」と言われる様な人物です。この方々の取り組みや行動は、結果的に地域の安定的雇用創出にもつながるものとして脚光を浴びまた期待されています。私たちの住む鹿児島にも身近な地域の課題から鹿児島県特有の長所や短所まで多くの社会課題があります。その社会課題や課題解決の活動に使命感を持って取り組むひとを一人でも多く育成することを目的に事業を企画運営いたします。県民市民の皆さまを対象に、既実践する方々の思いや内容を「知り」、現場にて集団で「学び」、自分はどう「行動する」のかを体系的に学ぶ3日間（7/11. 18. 19）セミナーをとおして、「身近な社会課題に関わり挑戦するやる気（使命感）と行動力」を身につける内容となっています。（未来を創る当事者となれ！～変革の能動者育成セミナー～）

また、7月27日には19:00から城山観光ホテルにてアフリカ・スーダンで医療活動を続けまた多くのメディアにも出演されている国際NGOロシナンテス理事長の川原尚行氏もお迎えして800名の公開例会も計画しています。

ひとりでも多くの方にこの事業と公開例会の機会を活かしていただき、混沌とした社会の中で「無関心」ではなく「自分はいま何をすべきか」を強く感じていただきたく考えます。鹿児島の未来を創る当事者（変革の能動者）としてひとりでも多くの方々が社会に関心を持って関わりあっていくことを期待し2つの事業を企画実施いたします。

社団法人鹿児島青年会議所  
ひとつづくり室  
変革の能動者育成委員会委員長 土屋妥九